

検討会議における「進め方」や「検証・意見聴取」について

1 検討会議の進め方に関すること

■ 発言・意見等

- グローバル化が進む中で、今後青森県の高校づくりに必要な最適解を見つけるための多角的視点を持つ若手リーダーや専門家を検討会議に参加させてはどうか。
- 将来構想の観点から、令和10年度以降の県立高校において当事者として教育する立場の人（若手教員）が委員として検討することが望ましいと考える。
- 教条主義やこれまでの経緯、慣習にとらわれないためにも、課題を明確にし、この部分を改革せねばならないという課題意識・危機意識を分科会と地区部会が共有することが大事。
- 多くの課題があるからこそ、課題をシンプルに明確にすることが大事だと思う。是非、分科会・事務局はデータを踏まえた検証により将来の課題を予見し、検討会議委員全体と共有を図ってほしい。

■ これまでの検討会議の状況等

〈委員等〉

- 魅力ある県立高校の在り方について、多角的な視点からの検討となるよう、次の方々を委員として委嘱。【第1回検討会議（全体会）資料2・3】
 - ・ 学識経験者：豊かな知識と経験を持ち、高校生を受け入れる側である大学関係者
 - ・ 教育関係者：現在及び将来の高校生の保護者であるPTA関係者、
高校教育に携わり、実際に高校教育に携わる側である高校長等、
様々な学科を有し、公教育の一翼を担っている私立高校関係者、
高校へ生徒を送り出す側である中学校長
 - ・ 産業界関係者：県内の産業に精通している農業会、工業会、経済界関係団体等
 - ・ 報道関係者：県内の社会情勢に精通している地元新聞社
 - ・ 地域の代表：地域振興や学校と連携した教育活動に尽力されている団体等
- 検討会議における魅力ある県立高校の在り方の検討に当たり、これまでの高校教育改革の検証等として「高等学校教育に関する意識調査」を実施している。
【第1回検討会議（全体会）資料6 P26】
対象：中学生・高校生とその保護者、小・中・高校・大学教員、市町村関係者、企業
（無作為の抽出調査）

〈検討会議・分科会・地区部会との課題等の共有〉

- 委員全体で目的や課題のほか、目指す人財、育成すべき資質・能力、求められる人財育成に向けた高校教育の方向性等を共通理解しながら、各会議における円滑な検討につなげるため、本日の会議資料3に基づき、次第4「（1）5月29日全体会及び意見等記入票での主な意見等の整理」において意見交換等を経ながら整理し、今後、各分科会や各地区部会と共有。

2 検証・意見聴取に関すること

■ 発言・意見等

- 次期実施計画の策定に当たっては、多様な意見に耳を傾け、生徒や地域の声を吸い上げた魅力ある計画としてほしい。

- より良い高校教育改革を進めていくため、これまでの高校教育改革について検証を行い、改善していくことが大切。
- 今後、本県の取組はもちろん、他県の事例も検証しながら、持続的に子どもたちを集めることができる教育制度はどのようなものか検討し、持続可能な高校づくりを進めていく必要がある。
- よりレベルの高い成果物を作るために、発言の要点をまとめた議事録を読み返しながら検討を進めることで、非常に実りある検討会議になると思う。
- 設置者が違うため難しいかも知れないが、私立高校の今後の在り方や見通しを考えず県立高校だけの改革で大丈夫なのか。
- 中学校卒業生数と県立高校との関係だけでなく、私立高校、他県への進学者数のデータを示していただいた上で検討が必要。
- 会議の名称にある「魅力づくり」は、中学生の立場から見た「魅力」であると思うため、中学生や保護者等からも随時、意見、意向等を調査し、確認したほうがよい。
- 参加型の検討会の実施。実質的な検討にはブレインストーミングが欠かせない。本検討会議では、1960年代にシェリー・アーンスタインが提唱した『市民参加の梯子』を高次元で実現することを願う。
- 各団体からの選出で選ばれた委員が揃っており、それぞれの団体で意見を共有していただくためにもPDFでの資料配布をお願いしたい。

■ これまでの検討会議の状況等

《会議資料の公開及び意見受付》

- 検討会議は公開で実施し、会議資料や概要はPDF形式でホームページへ公開するなど、検討状況の周知を図るとともに、会議における検討に資するよう、検討状況等に関して、県民の皆様から随時、意見等を受け付け。【第1回検討会議（全体会）資料5】

《これまでの高校教育改革の検証等》

- 検討会議における魅力ある県立高校の在り方の検討に当たり、これまでの高校教育改革の検証等として以下の調査等を実施することとしている。

【第1回検討会議（全体会）資料6 P26～27】

- ・ 高等学校教育に関する意識調査
対象：中学生・高校生とその保護者、小・中・高校・大学教員、市町村関係者、企業
- ・ 県高等学校長協会、県小学校長会及び県中学校長会への意見照会
概要：以下についての成果、課題、今後の方向性
 これからの時代に求められる力を育む学校・学科の充実
 生徒一人一人に充実した教育を提供するための学校配置
- ・ 学校視察
実施校選定の視点：普通科・専門学科・総合学科の学科種別、中高一貫教育・単位制・総合選択制・3部制の定時制の課程等の取組、学校規模 等

《私立高校》

- 検討会議は、令和10年度以降の魅力ある県立高校の在り方に関する「これからの時代に求められる力を育む学校・学科の充実」と「生徒一人一人に充実した教育環境を提供するための学校配置」について検討いただくもの。

なお、様々な学科を有し、特色ある教育活動を行っている私立高校側から、県立高校の魅力づくりに向けた御意見をいただくため、私立高校関係者を委員として委嘱。

【第1回検討会議（全体会）資料2～4】